

Shinto News

令和
5年

新春のご挨拶

新年あけまして
おめでとうございます。



旧年中は、当院の運営に格別のご高配・ご支援を賜り、誠に有難うございました。

新年を迎え、皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中で、ロシアのウクライナ侵攻、記録的な円安と物価高、など大変な状況が続きました。その一方で、FIFAサッカーワールドカップカタール2022で惜しくも8強入りは逸したものの予選リーグで強豪のドイツとスペインを撃破した日本代表の活躍は久しぶりの明るい話題となりました。

新たな変異株の出現とともに1月から5月にかけての第6波、さらには7月からの第7波、そして現在の第8波と、感染拡大を繰り返している新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応に日夜苦勞されていることと拝察します。当院でも、職員自身の感染や濃厚接触者として休職者続出、病棟のクラスター発生による入院制限など、病院運営と収支に相当な打撃を蒙りましたが、昨年1年間で200名を超える入院患者を受け入れたので、社会的にはある程度貢献できたかと思っています。

今年の干支は「癸卯(みずのと・う)で、

これまで努力が花開き、実り始めることとされています。今までの数年間が大きく「飛躍」し、大きく「向上」する年になって欲しいものです。COVID-19もいずれcommunity coronavirusへと変遷を遂げ、風邪ウイルスに取り込まれることが期待されていますが、感染状況が好転して「マスクが要らない」日常が一刻も早く到来し、病院を含め世の中全体が明るく、元気になることを念じています。

当院も喫緊の課題である医師の働き方改革への取り組みなど課題山積ですが、職員一同、新たな気持ちで、地域の中核病院として地域のニーズに応え、「在って良かった・在るので安心」と評価していただけるよう努力して参ります。

なお一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年(令和5年)元旦

理事長 藤山 重俊

※ Shinto Newsもお陰様で今回第50号となりました。引き続き、情報発信に努めて参りますので、よろしく申し上げます。

理念

私たち
くまもと森都総合病院は
質の高い医療を通じて
地域に愛され、親しまれる
病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65


TEL 096-364-6000 (代表)

FAX 096-362-5204

<https://www.k-shinto.or.jp>

令和
5年

新年挨拶 ... 

 謹んで新春を
お祝い申し上げます。



旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

医療界は新型コロナ第8波の真ただ中で2023年を迎えることとなり、これでコロナ禍の年越しが3年目になりますが、国の対応は何も改善されないことに皆様もうんざりされているのではないかとお察しいたします。国民に対しては経済対策を優先するためにwith コロナ政策を展開して人の移動を活発にし、一方では増加した新型コロナ患者で負担が増える診療所や病院はこれまでどおり一般医療を制限して患者さんに対応するという矛盾に、今年も耐えていくしかないのかと不安を感じる年初めになってしまいました。昨年12月に改正感染症法が成立して、2024年からの施行ではありますが、公的医療機関を中心に新型コロナウイルス蔓延時に専用病床を確保するという契約を県と交わすこととなりますが、民間病院にも協力要請がきております。コロナ禍に関してはなかなか先が読めず、新年の明るい話をしたいところに心苦しいばかりです。

もう一つ、これも明るい話とは言えないのですが、医師の働き方改革の施行が来年に迫ってきました。今年中に医師の時間外勤務を年間960時間以内に制限できるのかどうかを決めなくてはならず、

地域医療の最後の砦である救急病院を中心に、大変ご苦労されているのではないのでしょうか。宿日直許可に関しても大きな問題で、特に大学病院から医師を派遣していただいている病院は宿日直許可を取得しないと今後、医師派遣を受けにくくなるということで、夜間・祝日の救急車受け入れができなくなる病院が増えることが予想されます。地域を守る救急体制が今後どうなっていくのか、今年の状況をしっかり見極めていかなければならないと感じています。

最後に来年には医療界に更に大きな波がやってきます。診療・介護報酬ダブル改訂と第8次医療計画の開始です。“惑星直列”と例えられる程の医療の改訂ですので、どの医療機関も今年中に対応策を十分に検討しなくてはならず、いずれにしても今年は大変な年になるのかと想像されます。できれば医療界全体が協力して、かつ行政も巻き込んで、この荒波を乗り越える方法を考えて欲しいと、新年にお祈りをした次第です。

厳しさが増すばかりの医療界ですが、今後とも何卒よろしく願いいたします。

院長 鈴島 仁



関節リウマチの教育入院について

リウマチ膠原病内科部長 高岡 宏和



関節リウマチについて：主に若い方にみられる病気でしたが、近年では子供やご年配の方にも発症することが多くなっております。関節リウマチは遺伝する病気ではなく、たばこや歯周病などが原因の一つと言われており、治りにくい病気ですが、早めに診断し治療することで治療成績がよくなりました。関節リウマチの治療法は急速に進歩し、治療により関節炎を認めない、もしくはほとんど認めない状態まで改善させることも十分可能となりました。しかしながら関節炎を認めない状態まで改善した後も関節破壊が進む場合があり、日常生活における関節への過度な負担が関与していないかどうか今後の検討課題です。



関節エコーについて：関節リウマチの診断および治療開始時にはレントゲン、関節エコー、MRIなどの画像評価が重要になりますが、当院では特に関節エコーを積極的に用いて診療しております。関節エコーは関節リウマチの病態の中心である滑膜の炎症を直接観察するゼリーを塗って行う無侵襲な画像検査です。関節リウマチに

おける細胞内シグナル伝達阻害剤、新たなサイトカイン阻害剤、複数の新規薬剤の臨床治験に取り組んでおりますが、最近では多施設との共同研究でこの関節エコーを取り入れた治療を展開しており、また治療が安全に提供できるよう日々努力を積み重ねております。

教育入院について：関節リウマチ治療中あるいはリハビリを希望される患者さんを対象に当院の医師・薬剤師・理学療法士・看護師・検査技師・栄養管理士・社会福祉士など担当スタッフより3泊4日あるいは7泊8日の入院で個別指導しておりますので、気になる方は遠慮なくお問い合わせください。関節痛が全てリウマチ性疾患とは限りませんが、関節の痛みを感じた場合は早めの受診をおすすめいたします。



先生方の患者さんで、リウマチ疾患等でお困りの方がいらっしゃいましたら是非ともご紹介お願いいたします。



橋口清明部長

診療科紹介 緩和ケア科

緩和ケア科について：

当院の緩和ケア科の診療領域は、①緩和ケア病棟での診療、②緩和ケア外来での診療、③緩和ケアチームとしての一般病棟の患者さんの対応です。がん自体を治す治療ではなく、患者さんのこころと体のつらさを和らげるための治療やケアを行っています。

当院の緩和ケア病棟について：

患者さんやご家族に発信しているメッセージは、“**あなたのために、あなたの大切な人のために、私たちの緩和ケア病棟があります**”です。お一人お一人の人生の歩みを大切にして、穏やかなお気持ちで過ごしていただけるように、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、理学療法士がチームを作り、患者さんとご家族のサポートを行っています。

緩和ケア病棟で行っている“ケア”は、症状のケア、こころのケア、その方らしさを尊重したケア、ご家族のケア、在宅療養を支えるケアの5つです。以下に簡潔にご紹介いたします。

- 1) 症状のケア：**痛みや倦怠感に代表される苦痛症状を取り、より良く過ごしていただけるようにします。症状の緩和には、麻薬をはじめ鎮痛補助薬を使って症状を取るようになっています。薬剤以外にも様々なケアで症状が軽くなるよう努めています。
- 2) こころのケア：**患者さんお一人お一人のこころに寄り添う医療を行います。
腫瘍精神科医師にも協力をいただきながらそれぞれの患者さんに最適なケアを行っています。
- 3) その方らしさを尊重したケア：**患者さんの人生観や個性を大切にしています。
- 4) ご家族のケア：**ご家族は“第二の患者”とも言われます。

ご家族の悩みやつらさを少なくするように医療者が一緒に考えさせていただきます。

- 5) 在宅療養を支えるケア：**ご自宅で過ごしたいと思われる患者さんの思いを大切に、在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションと連携して、在宅療養をサポートします。短期間の症状緩和目的の入院や、レスパイト入院も積極的に受け入れしており、入院を繰り返しながら療養されている方もたくさんおられます。現在、当院緩和ケア病棟の在宅復帰率は約3割に及んでいます。またご自宅に退院の際には、地域の先生方に訪問診療をお願いし、再度入院が必要な際には当院にて対応させていただいています。このように当院だけでは担えない役割も地域の先生方と連携させていただくことで、患者さんの望まれる在宅療養を支えていくことが可能となっています。

緩和ケア外来について：

外来は痛みの治療だけでなく、お気持ちのケアも行っています。また、緩和ケア病棟からご自宅に帰られた方の通院治療も受け持っています。

緩和ケアチームについて：

一般病棟入院中の患者さんに対して多職種でコンサルテーションチームとしての診療をおこなっています。また、一般病棟から緩和ケア病棟への入院をお手伝いしますし、一般病棟からご自宅に帰られるときのサポートもいたします。

先生方の患者さんで緩和ケアを必要とされておられる方がいらっしゃれば、どうぞご紹介ください。

(緩和ケア科部長 橋口 清明)

『Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ 解剖から学ぶ鼠径ヘルニア

日時 2023年1月19日(木) 17:30～

開催方法 ハイブリッド開催 (Web参加も可能です)

場所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。
お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
(<https://onl.bz/y5RFg49>)

講師 外科部長 田嶋 ルミ子





1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

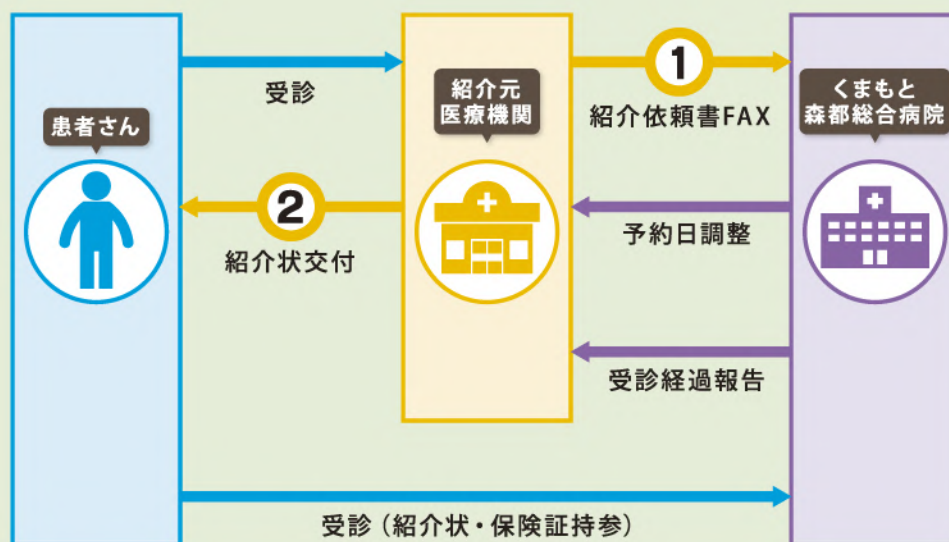
外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいただきますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいただき、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介
について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始) ※急患はこの限りではございません

2023年1月1日現在

	午前 / 午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕						
総合診療科	午前	吉田 健	吉田 健	吉田 健 再診	吉田 健	
肝臓・消化器 内科	午前	藤山 重俊	宮瀬 志保	藤山 重俊	宮瀬 志保	柚留木 秀人
		柚留木 秀人	三浦 浩美	東野 奈津己	東野 奈津己	三浦 浩美
血液内科	午前	藤原 志保	藤原 志保	下村 泰三	藤原 志保	下村 泰三
		花田 駿志	鈴島 仁	渡邊 祐子	渡邊 祐子	鈴島 仁
	午後	下村 泰三	宮川 寿一		宮川 寿一	花田 駿志
循環器内科	午前	中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太
	午後	中村 尚太		中村 尚太		
腎臓内科	午前				水足 謙介	水足 謙介
	午後	水足 謙介				
リウマチ 膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後			高岡 宏和 再診		
呼吸器内科	午前			今井 美友 (熊大) 再診		
代謝・内分泌内科	午後			黒岩 花織 (熊大) 再診		
外科	午前	山中 剛	田嶋 ルミ子	田嶋 ルミ子	山中 剛	山中 剛
	午後	田嶋 ルミ子				
乳腺外科 (乳腺センター)	午前 8:30 ~ 12:00 午後 14:00 ~ 16:00 (完全予約制)	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
		大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
		大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子
		中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
産婦人科	午前	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司
	午後	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠
産婦人科	午後	片淵 秀隆 (女性相談外来)	片淵 秀隆 (女性相談外来)	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来)	永井 隆司 初診予約
						岡島 翠 (検診)
整形外科	午前 初診 再診	有村 仁志	山部 聡一郎	有村 仁志	山部 聡一郎	山田 祐莉子
眼科	午前	松本 光希 8:30 診察開始	松本 光希 9:30 診察開始	松本 光希 8:30 診察開始	手術	松本 光希 8:30 診察開始
		草野 雄貴 8:30 診察開始	草野 雄貴 8:30 診察開始	草野 雄貴 9:30 診察開始		草野 雄貴 9:30 診察開始
		西澤 麻保 9:30 診察開始	西澤 麻保 8:30 診察開始	西澤 麻保 8:30 診察開始		西澤 麻保 8:30 診察開始
	午後	手術	特殊外来	手術	手術	手術
皮膚科 (完全予約制)	午前	宮下 加奈子	松尾 敦子	松尾 敦子	宮村 智裕	松尾 敦子
	午後	城野 昌義 再診	宮村 智裕	宮下 加奈子	城野 昌義 再診	宮下 加奈子
皮膚科 (完全予約制)	午後	予約注射のみ	手術		(回診) 予約注射のみ	手術
	麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前	洲崎 祥子		田口 裕之	
緩和ケア (面談)	午前	田口 裕之 (術前診療)		洲崎 祥子 (術前診療)		
		橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医